

みんなでチャレンジ!

仕事と育児・家庭を

両立しやすい職場づくり



お仕事しているパパ・ママを見学!

実施しました

子どもお仕事参観日

子どもたちが親の職場を見学する「子どもお仕事参観日」。働くパパ・ママに触れる機会は、親子の絆を深め、新たなコミュニケーションを生み出すとともに、職場と家族の交流により、仕事と育児・家庭の両立支援の意識醸成につながります。

社会福祉法人雄勝なごみ会 複合施設ぱあとなあ【湯沢市】

業種:医療・福祉 従業員数:58名(法人全体487名) <http://ogachi-nagomi.net/>



(社福)雄勝なごみ会は、湯沢雄勝地区の10施設を拠点に障害者、高齢者の福祉介護事業を運営しています。目指すのは利用者やその家族、地域住民と心が通い響きあう在宅介護、生活支援、就労支援などの福祉サービスです。その実現には、現場を担う従業員が幸せで満足できる職場環境づくりが大切という理念のもと、平成25年に行動計画を策定。仕事と育児・家庭の両立と、次世代育成の施策を展開しています。産休・男女の育休取得や復帰のフォロー、時間単位の子の看護休暇なども周知して、制度活用を奨励。また、24時間態勢の介護現場を支える従業員のカウンセリングなどで、働きやすい環境づくりをすすめています。

当日のスケジュール

8:30	お母さんと一緒に出勤
9:00	施設の探検・体験
12:00	昼食
13:00	利用者のみなさんとふれあいタイム
17:00	お母さんと退社



見学内容

【参加者／小学生3名】

複合施設ぱあとなあは、高齢者デイサービス、障害者福祉ホーム、就労支援事業などの地域の拠点施設。お仕事参観日当日は、夏休みの子どもたちがお母さんと一緒に出勤して一日を過ごしました。最初はカフェの開店準備やパンづくり。パン生地成形で初めて三つ編みに挑戦した男の子も、利用者さんに「なんぼ美味いべなあ」といわれてちょっと得意げです。カフェのテーブルを拭いて、たくさんの包装袋にシール貼り、利用者さんにコーヒーを運んでお手伝い。合間には夏休みの宿題もこなしつつ、デイサービスの利用者さんとゲームを楽しみ、なんだかおばあちゃんの家に行った気分です。

それでも、「どんなお仕事をしているか少し分かった」「大変そう」「いろんな人がいるね」と実感し、お母さんの職場や福祉の仕事の大切さも感じ取ってくれたようです。



保護者から

生活支援員 阿部さん

同じぐらいの年の子ばかりだったのであまり緊張せず過ごせました。いろんな人たちに会い、お手伝いして楽しかったようです。家にいるときは少し違う私の姿に「お母さんすごい」って(笑)。これからはもっと仕事のことを話してあげたいですね。



職場から

天野施設長

笑顔のあふれる職場は、利用者へのサービス向上に直結します。そのためには、お互いの家庭生活を尊重しながら安心して働ける環境づくりは欠かせません。お仕事参観日は、家族の理解や従業員同士の共感、みんなで支え合うきっかけとして活用しています。子どもが来るとはりきる従業員も多いですよ。また、子どもたちには高齢者、障がい者への福祉の仕事に触れて、理解や共感も深める機会になるといいですね。

※旧・社会福祉法人雄勝福祉会は、平成29年4月の法人合併で現法人名となりました。